



日本生命保険相互会社  
平成26年8月5日

## ニッセイ インターネットアンケート ～8月:「夏休み」について～

日本生命保険相互会社（社長：筒井義信）は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューのひとつとして、ホームページ（<http://www.nissay.co.jp>）内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「夏休み」に関するアンケート調査を実施いたしました。

来月は「敬老の日」に関するアンケート調査結果を発表いたしますので、ご期待ください。

### 《調査概要》

- 調査期間：平成26年7月1日（火）～7月16日（水）
- 実施方法：インターネット（PC・携帯電話モバイルサイト）による回答
- 調査対象：「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューアンケートへの訪問者
- 回答者数：10,372名（男性：5,598名、女性：4,774名）

年代別回答数 (名)

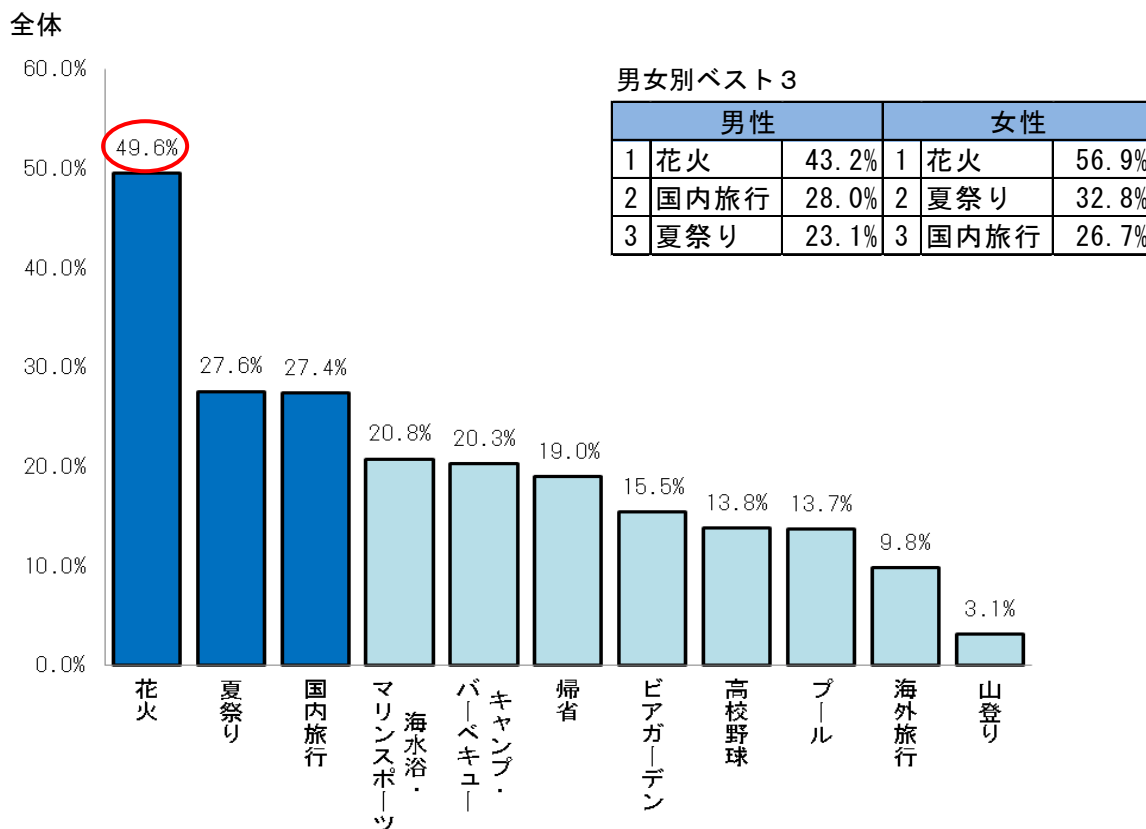
年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
人数	896	1,952	3,075	2,585	1,309	555	10,372
占率	8.6%	18.8%	29.6%	24.9%	12.6%	5.4%	100.0%

- 質問1：夏のイメージについて
  - ◆夏のレジャー・イベントといえば？
  - ◆夏の食べ物・飲み物といえば？
  - ◆夏の必需品といえば？
  - ◆夏のイメージにぴったりの芸能人・スポーツ選手等の著名人は誰ですか？
- 質問2：夏休みについて
  - ◆今年の夏休みは何連休ですか？
  - ◆夏休みの予定は？
  - ◆夏休みの旅行にかかる一人あたりの予算はいくらですか？
  - ◆昨年と比べて旅行にかかる一人あたりの予算の増減額は？

## ■質問1 夏のイメージについて

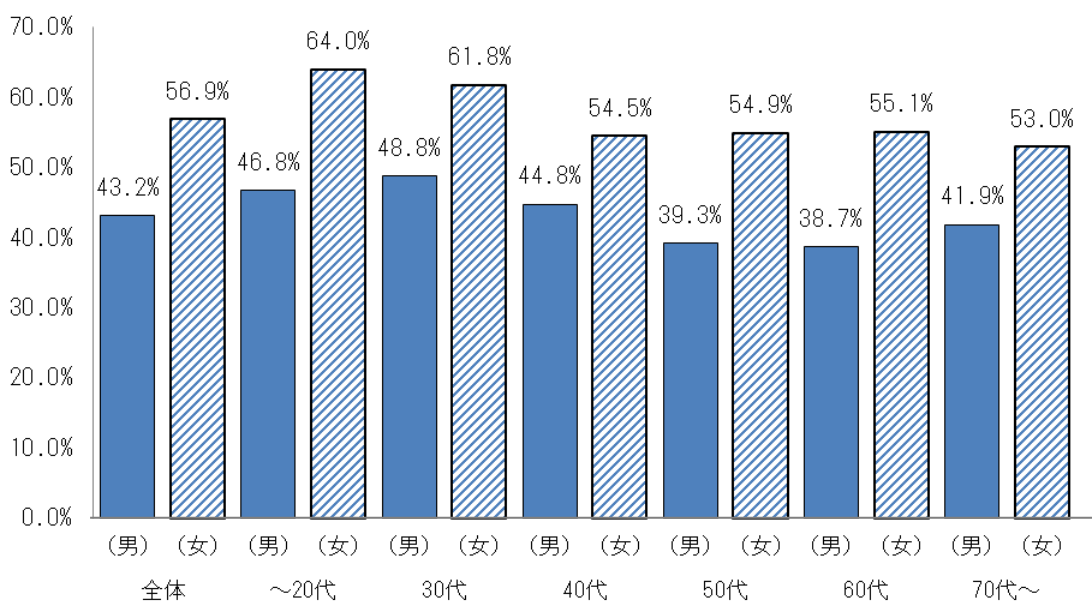
### ◆夏のレジャー・イベントといえば？（3つまで選択可 回答者数：10,372名）

- 全体では、「花火」が49.6%と、圧倒的な投票数で2年連続第1位となり、第2位の「夏祭り」以下を大きく引き離れた。
- 「花火」は、どの年代でも男性は40%前後、女性では55%前後となっており、年代を問わず夏の風物詩といえば「花火」と思っている方が多いようだ。



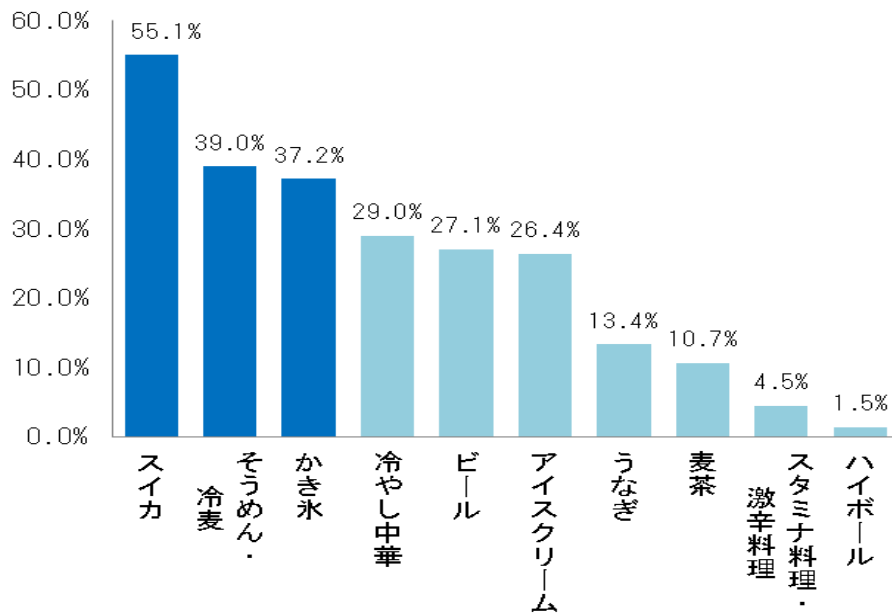
<トピックス>年代を問わず、夏の風物詩といえば「花火」という方が多い。

### 「花火」の年代別、男女別の回答結果

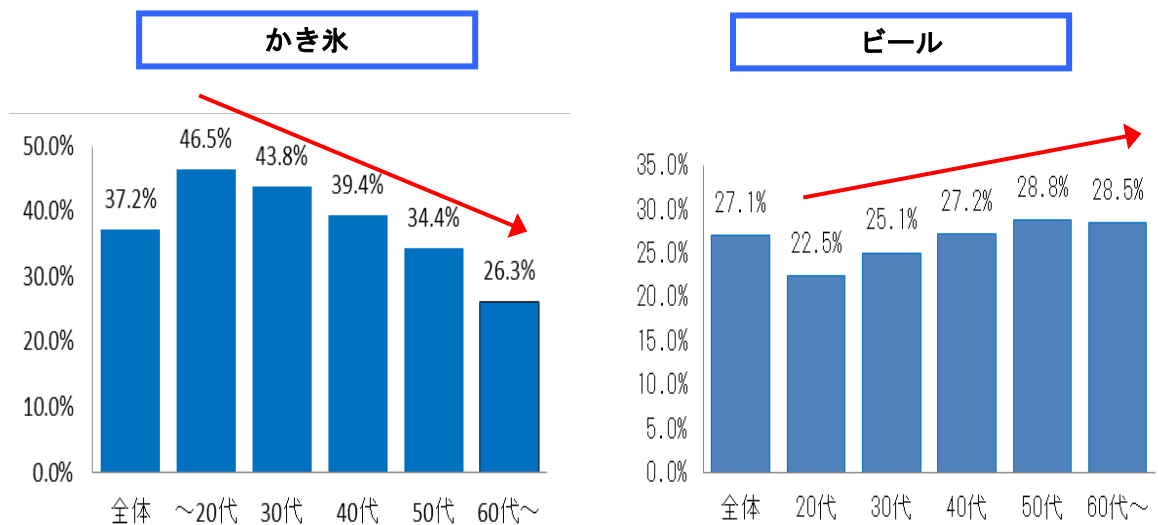


◆夏の食べ物・飲み物といえば？（3つまで選択可 回答者数：10,372名）

○昨年に続き、第1位「スイカ」、第2位「そうめん・冷麦」、第3位「かき氷」となった。  
 ○一方、年代別に見ると、若年層とシニア層で大きく異なったのが、「かき氷」と「ビール」。  
 若年層のビール離れ等が反映した結果となった。



<トピックス>夏の食べ物・飲み物は若年層では「かき氷」のイメージが強く、ビール離れの傾向がみられる。



<ニッセイ基礎研究所 矢嶋康次 チーフエコノミストのコメント>

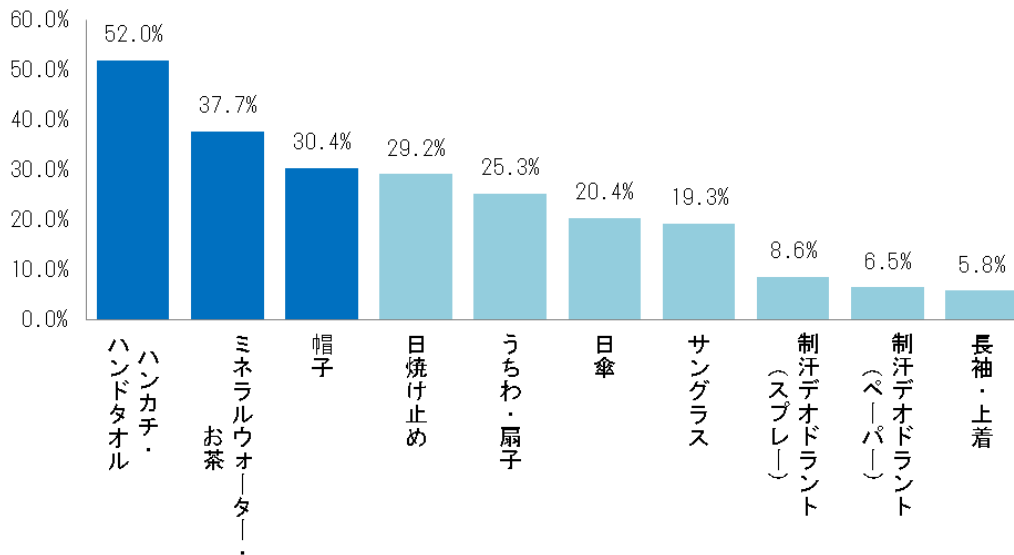


○どの年代にとっても「花火」はダントツで夏をイメージできるものになっています。  
 ○リーマンショックの影響から、一時花火大会の規模が縮小するところもありましたが、景気の回復に伴い再び拡大しています。ますます全世界で「花火」は夏の風物詩として定着し続けるでしょう。  
 ○ただし、イベントでの食べ物・飲み物は年代により大きく異なります。「かき氷」と「ビール」で非対称の結果となっており、年々世代間の嗜好が乖離していることが伺えます。

◆夏の必需品といえば？（3つまで選択可 回答者数：10,372名）

○全体では昨年と同じランキングになった。男女別にみると男性では第3位が「帽子」、第5位が「サングラス」、女性では第2位が「日焼け止め」、第3位が「日傘」という結果になり、性別によって日差し（UV）対策は大きく違うという結果になった。

全体



<トピックス>夏の日差し対策は、男性は「帽子」や「サングラス」、女性は「日焼け止め」や「日傘」を使う傾向。

男女別ベスト5

順位	男性	女性
1位	ハンカチ・ハンドタオル	ハンカチ・ハンドタオル
2位	ミネラルウォーター・お茶	日焼け止め
3位	帽子	日傘
4位	うちわ・扇子	ミネラルウォーター・お茶
5位	サングラス	帽子

<ニッセイ基礎研究所 矢嶋康次 チーフエコノミストのコメント>

○例年、夏場に熱中症のニュースが報じられています。「ハンカチ」等汗拭きの対策だけでなく「ミネラルウォーター」等が必需品となっていることから、熱中症予防に対する意識の高さが伺えます。

○また電力問題により節電が推進されているため、地下鉄や室内等も暑いのが当たり前となり、「制汗デオドラント」等汗のにおいを防ぐといった商品も浸透してきているようです。

◆夏のイメージにぴったりな芸能人・スポーツ選手等の著名人は誰ですか？

(回答者数：10,372名)

○昨年第2位だったTUBEの「前田亘輝さん」が、第1位に輝いた。昨年第1位だったサザンオールスターズの「桑田佳祐さん」は第2位となったが、回答者数は1,600名を超え、第3位以下を大きく引き離れた。

順位	氏名	回答数	占率
1位	前田 亘輝さん (TUBE)	2,345名	25.9%
2位	桑田 佳祐さん (サザンオールスターズ)	1,674名	18.5%
3位	加山 雄三さん	431名	4.7%
4位	イチローさん	277名	3.0%
5位	松崎 しげるさん	245名	2.7%

<ご参考> 昨年のランキング

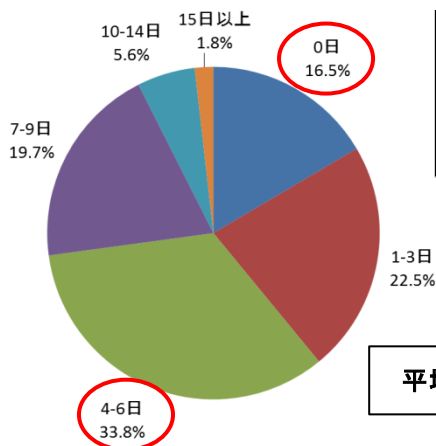
1位	桑田 佳祐さん
2位	前田 亘輝さん
3位	加山 雄三さん
4位	北島 康介さん
5位	イチローさん

■質問2 夏休みについて

◆今年の夏休みは何連休ですか？ (回答者数：10,372名)

○夏休みの平均は5.1連休。全体では「4～6連休」の人が33.8%と、最も多かった。一方で「0日」(夏休みなし)の人も16.5%という結果になった。  
○男女別では、「0日」は男性12.4%、女性21.4%と女性の方が多く一方で、「15日以上」は男性1.5%、女性2.2%と、長い夏休みも女性の方が多かった。

全体



男女別内訳

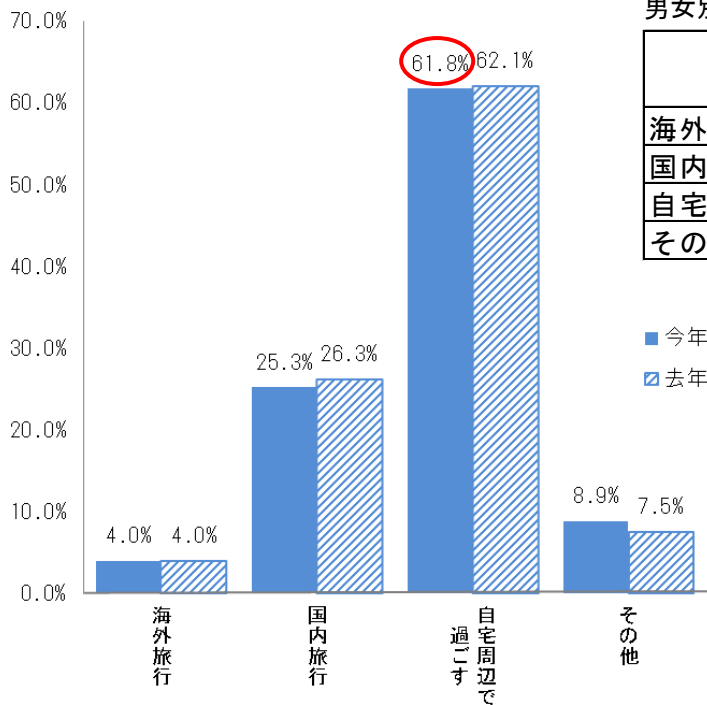
	0日	1~3日	4~6日	7~9日	10~14日	15日以上	平均
男性	12.4%	22.4%	35.8%	22.2%	5.6%	1.5%	5.2日
女性	21.4%	22.6%	31.4%	16.7%	5.7%	2.2%	4.8日
全体	16.5%	22.5%	33.8%	19.7%	5.6%	1.8%	5.1日

平均 5.1 連休

◆夏休みの予定は？（回答者数：10,372名）

- 第1位は「自宅周辺で過ごす」が61.8%と、昨年に引き続き6割以上の方は遠出をしないという結果になった。
- 昨年と比べて、男性では「海外旅行」が増加したのに対し、女性は「海外旅行」、「国内旅行」が減少し、「自宅周辺で過ごす」方が増加した。

全体



男女別内訳

	男性		女性	
	今年	去年	今年	去年
海外旅行	4.0%	3.6%	4.1%	4.6%
国内旅行	26.8%	27.3%	23.4%	25.0%
自宅周辺で過ごす	60.4%	61.4%	63.5%	63.0%
その他	8.8%	7.7%	9.0%	7.4%

<トピックス> 「海外旅行」の行き先人気No. 1は「ハワイ」。「欧州」も第2位にランクイン。

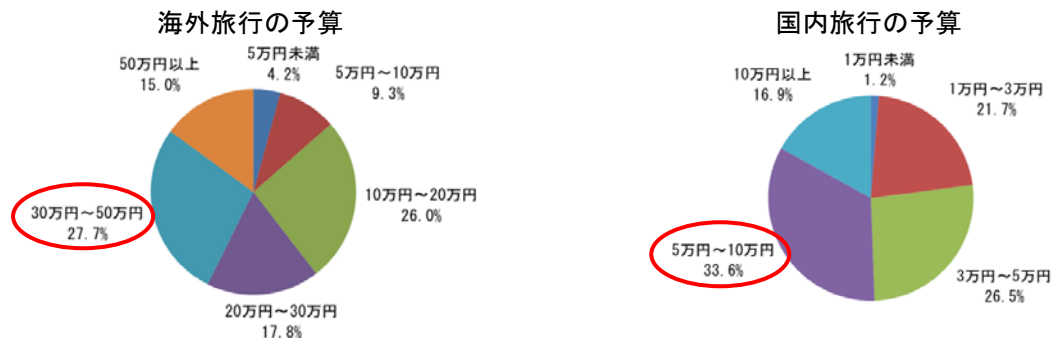
「海外旅行」を選んだ方の行き先

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	
ハワイ	欧州	東南アジア	グアム サイパン	北米	韓国	台湾	オセアニア	中国	その他
25.3%	16.7%	12.2%	6.8%	6.6%	6.3%	6.1%	2.6%	2.1%	15.2%

<「海外旅行」・「国内旅行」と回答した方への質問>

◆夏休みの旅行にかける一人あたりの予算はいくらですか？（回答者数：3,039名）

○旅行予算の平均額は、海外旅行が256,352円、国内旅行が56,113円。  
 海外旅行は「30万円～50万円」が27.7%、国内旅行は「5万円～10万円」が33.6%と最も多かった。  
 ○男女別では、海外旅行・国内旅行ともに男性よりも女性の方が旅行にお金をかけているという結果になった。



旅行にかける予算の平均額

	海外旅行	国内旅行
男性	239,064円	53,825円
女性	275,595円	59,160円
全体	256,352円	56,113円

← 女性の方が旅行の予算が多い

◆昨年と比べて旅行にかける一人あたりの予算の増減額は？（回答者数：3,039名）

○旅行にかける予算は海外旅行・国内旅行ともに「変わらない」が3割以上で最も多く、金額にかかわらず「増えた」という人は海外旅行・国内旅行ともに半数を超える結果となった。

海外旅行予算の増減額

	男性	女性	全体
減った	3.1%	2.7%	3.6%
変わらない	34.0%	34.6%	33.3%
増えた額	1円以上～100,000円未満	23.4%	23.2%
	100,000円以上～200,000円未満	19.1%	20.5%
	200,000円以上	20.3%	18.9%

国内旅行予算の増減額

	男性	女性	全体
減った	2.2%	2.1%	2.4%
変わらない	42.7%	45.1%	39.5%
増えた額	1円以上～50,000円未満	23.2%	22.2%
	50,000円以上～100,000円未満	29.1%	28.1%
	100,000円以上	2.8%	2.5%

↑ 増えた人は50%以上

<ニッセイ基礎研究所 矢嶋康次 チーフエコノミストのコメント>

○海外旅行の行き先では、「韓国」、「台湾」等近くて比較的旅行代金が安いアジアよりも、「ハワイ」や「欧州」等旅行代が高めの海外旅行の行き先の人気が高いようです。  
 ○また海外旅行・国内旅行とも、昨年よりも旅行にける予算が増加しています。  
 ○経団連の調べでは、今年の夏のボーナスは昨年と比べて7.19%増と、バブル期（1990年）以来の高い伸びとなっています。財布の紐が多少緩み、昨年よりも夏休みを贅沢に過ごす方が増えたようです。

以上

H26-702G, 広報部